

付議 第 3 号

高知県立高等学校の分校並びに課程、学科及び科の設置に関する規則の一部を改正する規則議案

高知県立高等学校の分校並びに課程、学科及び科の設置に関する規則（昭和48年高知県教育委員会規則第6号）の一部を別紙のとおり改正することについて、高知県教育委員会事務委任規則（平成4年高知県教育委員会規則第1号）第2条第3号の規定により議決を求めます。

高知県教育委員会事務委任規則（平成4年高知県教育委員会規則第1号）

第2条 教育委員会は、次に掲げる事務を除き、その権限に属する事務を教育長に委任する。

(3) 規則及び訓令を制定し、又は改廃すること。

高知県立高等学校の分校並びに課程、学科及び科の 設置に関する規則の一部を改正する規則議案説明

1 一部改正の目的と内容

- (1) 県立高等学校再編計画「第3次実施計画」に基づき、高知県立伊野商業高等学校のメディアクリエート科、国際観光科、情報デザイン科、ビジネス会計科、情報処理科を募集停止し、新たに単位制のキャリアビジネス科を設置しようとするものである。
- (2) 県立高等学校再編計画「第3次実施計画」に基づき、高知県立宿毛高等学校大月分校を平成24年度から募集停止し、在籍者がいなくなる年度の末日をもって学校を廃止しようとするものである。

2 施行期日

上記1(1)は、平成24年4月1日から施行し、上記1(2)は平成26年4月1日から施行する。

(別紙)

教 育 委 員 会 規 則

高知県立高等学校の分校並びに課程、学科及び科の設置に関する規則の一部を改正する規則をここに公布する。

平成23年3月 日

高知県教育委員会委員長 小島 一久

高知県教育委員会規則第 号

**高知県立高等学校の分校並びに課程、学科及び科の設置
に関する規則の一部を改正する規則**

高知県立高等学校の分校並びに課程、学科及び科の設置に関する規則（昭和48年高知県教育委員会規則第6号）の一部を次のように改正する。

本則の表高知県立伊野商業高等学校の項中「メディアクリエート科 国際観光科 情報デザイン科 ビジネス会計科 情報処理科」を「キャリアビジネス科」に改め、同表高知県立宿毛高等学校の大月分校の項を削り、同表備考中

「3 高知県立高知丸の内高等学校の全日制の課程の普通科」を

「3 高知県立高知丸の内高等学校の全日制の課程の普通科

4 高知県立伊野商業高等学校の全日制の課程の商業に関する学科

に改める。」

附 則

(施行期日)

- 1 この規則中本則の表高知県立宿毛高等学校の大月分校の項を削る改正規定及び附則第3項の規定は平成26年4月1日から、その他の規定は平成24年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規則による改正前の高知県立高等学校の分校並びに課程、学科及び科の設置に関する規則（次項において「旧規則」という。）の規定により設置された高知県立伊野商業高等学校の全日制の課程のメディアクリエート科、国際観光科、情報デザイン科、ビジネス会計科及び情報処理科（以下この項において「メディアクリエート科、国際観光科、情報デザイン科、ビジネス会計科及び情報処理科」という。）は、この規則による改正後の高知県立高等学校の分校並びに課程、学科及び科の設置に関する規則（次項において「新規則」という。）の規定にかかわらず、平成24年3月31日にメディアクリエート科、国際観光科、情報デザイン科、ビジネス会計科及び情報処理科に在学する者がそれぞれメディアクリエート科、国際観光科、情報デザイン科、ビジネス会計科及び情報処理科に在学しなくなるまでの間、なお存続するものとする。
- 3 旧規則の規定により設置された高知県立宿毛高等学校の大月分校の全日制の課程の普通科（以下この項において「宿毛高校

大月分校普通科」という。)は、新規則の規定にかかわらず、平成26年3月31日において宿毛高校大月分校普通科に在学する者が宿毛高校大月分校普通科に在学しなくなる日以後の最初の3月31日までの間、存続するものとする。

新 旧 対 照 表

高知県立高等学校の分校並びに課程、学科及び科の設置に関する規則（抜粋）

県立高等学校にそれぞれ次の分校並びに課程、学科及び科を置く。

学校	本・分校	課程	学科及び科
略	略	略	略
高知県立伊野商業高等学校	本校	全日制的課程	商業に関する学科 <u>キャリアビジネス科</u>
略	略	略	略
高知県立宿毛高等学校	本校	全日制的課程 定時制的課程	総合学科 普通科
略	略	略	略

備考 次に掲げる課程は、単位制による過程とする。

- 1 全日制的課程の総合学科
- 2 定時制的課程
- 3 高知県立丸の内高等学校の全日制的課程の普通科
- 4 高知県立伊野商業高等学校の全日制的課程の商業に関する学科

高知県立高等学校の分校並びに課程、学科及び科の設置に関する規則（抜粋）

県立高等学校にそれぞれ次の分校並びに課程、学科及び科を置く。

学校	本・分校	課程	学科及び科
略	略	略	略
高知県立伊野商業高等学校	本校	全日制的課程	商業に関する学科 <u>メディアクリエート科</u> <u>国際観光科</u> <u>情報デザイン科</u> <u>ビジネス会計科</u> <u>情報処理科</u>
略	略	略	略
高知県立宿毛高等学校	本校	全日制的課程 定時制的課程	総合学科 普通科
	大月分校	全日制的課程	普通科
略	略	略	略

備考 次に掲げる課程は、単位制による過程とする。

- 1 全日制的課程の総合学科
- 2 定時制的課程
- 3 高知県立丸の内高等学校の全日制的課程の普通科

＜育成する生徒像＞

キャリア教育を基盤とし、商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、ビジネスの諸活動を主体的に行い、経済社会の発展に寄与できる生徒を育成する。

現 状

5 学科体制

平成 6 年度より 5 学科体制

メディアクリエート科

高度情報通信ネットワーク社会に向けて、マーケティングにおける販売促進策であるCM（コマーシャル）・PV（プロモーションビデオ）の作成に関する知識と技術を習得している。

国際観光科

「国際理解」と「観光ビジネス」についての基礎知識の習得と、体験学習（インターンシップ・デュアルシステム）を実施している。

情報デザイン科

デザイン基礎（色彩・構成・レタリング・精密描写など）の習得と、コンピュータグラフィックの技法を習得している。

ビジネス会計科

会計分野の活躍を目指し、簿記・会計に関する専門分野の知識と技術を習得している。

情報処理科

情報処理に関する知識と技術を習得し、ビジネスにおける情報処理の意義や役割についての理解と、情報を実践的に活用するための能力を習得している。

現状の課題

- ・平成 17 年度以降入学定員を満たしていない状況が続いている。
- ・社会情勢の変化、経済状況の変化のスピードが早く、変化に対応した内容を学習する体制が十分でない。
- ・生徒に将来の目的意識を持たせることができず、中途退学者が多い。
- ・就職内定率が低いなど、十分な進路保障ができていない。
- ・進路保障にもつなげる資格取得が不十分である。
- ・高大連携や外部との連携による取組が不十分である。

課題解決のために

○商業教育の特性を活かした「人づくり教育」を実践し、魅力ある学校づくりを行う。（キャリア教育・進路保障・部活動など）

○商業教育で不易とされる専門教育の充実を図るため、資格取得にも力を注ぐ。（簿記・情報処理などの資格取得）

○単位制の導入により、将来の進路設計につながる、専門的な選択科目を設置する。

○中途退学者を減らす。

改編の方向性

○キャリア教育を通して生徒に将来の目的意識をもたせる。

○進路保障に必要な普通教科と専門教科の基礎的な学力を確実に全員に身に付けさせる。

○さらに高いレベルの専門性を追求できる学習体制を整え

改 編 後

キャリアビジネス科【単位制】

160名のくくり募集

教育目標

- 主体的に進路を選択・決定できる能力を育てる。
- 社会人・職業人として自立していき、高知県で活躍できる人材を育成する。
- 部活動や特別活動を活性化させ、基本的な生活習慣や礼儀作法をしっかりと身に付けさせる。

伊野商業を支える5つの柱【手立て】

- 進路保障（進学・就職）の充実
 - ・徹底した補力補習により、ひとりの生徒も欠点を取らさない。
 - ・特別講座を設置し、徹底的な進路補習を行う。
 - ・全教員による企業訪問、開拓を積極的に行う。
 - ・デュアルシステムなどの体験活動を積極的に取り入れる。
 - ・全教員が共通理解のもと、教育活動を通して同じ姿勢でビジネスマナー指導にあたる。
- キャリア教育の推進
 - ・1年次のキャリアガイダンスの時間を使い、2年次以降のコース選択・科目選択をしっかりと行う。
 - ・インターンシップやデュアルシステムなどの体験学習を積極的に行い職業観・勤労観を育成する。
- 資格取得（実学教育）
 - ・特別講座を設置し、資格取得のための個別指導を充実させる。
 - ・全生徒に全商2級レベルの資格を取得させる。
- 特別活動の充実
 - ・全教員が協力し、学校行事や生徒会活動、ボランティア活動を推進する。
- 部活動の活性化
 - ・部活動の加入率の向上を目指す。40% → 70%
 - ・運動部を活性化させ県大会ベスト4以上を目指す。
 - ・文化部を活性化させ県大会優勝を目指す。

キャリア教育を基盤としたビジネス教育の実現

1 年次

1年次の科目を共通履修とし、商業に関する基礎的な学習や実習を行うとともに、2年次からのコース選択や科目選択に向けたキャリアガイダンスを行う。

2・3 年次

将来のスペシャリストを目指し、商業に関する専門分野の基礎・基本を学習するため、4つの専門コースを設置し、将来の進路実現に向け自主的に取り組む生徒を育成する。

ビジネス系列群		情報処理系列群	
ビジネスコース	ツーリズムコース	ICTコース	デザインコース

※詳細については別紙参照

3年間で育成する力

社会的・職業的自立に向けた「人づくり教育」の推進

- ・ 基本的生活習慣や礼儀作法をしっかりと身に付けさせる。
- ・ 社会で必要とされる基礎学力の定着を図る。

■キャリア教育の取組み

<全学年>

- 基本的生活習慣や礼儀作法をしっかりと身に付けさせる。

【手立て】

- 部活動や特別活動を活性化させるとともに、すべての教育活動を通して基本的生活習慣や礼儀作法をしっかりと身に付けさせる。

【体制】

- 全教員が共通理解のもと、すべての教育活動を通して同じ姿勢で指導にあたる。

<1年次>

- 将来の目標設定や進路実現に向けた、コース選択・科目選択をしっかりと行わせる。

【手立て】

- キャリア教育のシラバスに基づき、キャリアガイダンスやビジネス基礎といった科目の中で、各生徒に応じたコース選択・科目選択を行わせる。また、全教科の中で、将来の目標設定に向けての意識付けを行う。

【体制】

- キャリア教育を推進するプロジェクトチームを編成し、その中で年間指導計画を作成し、指導する全教員が同じシラバスのもと展開する。

<2・3年次>

- 全コースで体験学習を実践し、将来、ビジネス社会で役立つ能力を育成する。

【手立て】

- デュアルシステム（長期休業中を利用し、7日以上就業体験）を実施し、専門的職業に対する理解を深めると共に、ビジネスマナーを習得させる。

【体制】

- 体験学習に向け教員間の共通認識を図り、全教員で企業等の訪問を行い、地域や企業、外部協力者と連携する。

■進路保障に必要な基礎的、基本的な学力を身に付けさせる取組み

<1年次>

- 普通教科の基礎・基本と、商業の必修科目「ビジネス基礎」「簿記」「情報処理」「商業技術」を確実に身に付けさせる。

<2・3年次>

- 普通教科と各コースの商業の必修科目を確実に身に付ける。

【手立て】

- 授業でつまづきが出た場合は、授業内容を見直し、個に応じた指導の強化とともに、放課後や学期末に補力補習などを行い基礎学力の定着を図る。

【体制】

- 各教科担当とクラス担任、教務部、関係校務分掌とが連携し、補習体制をつくる。

■資格取得への取組み

<1年次>

- 共通履修の「簿記」「情報処理」「商業技術」を学習し、全商3級のいずれかの資格を1年次に必ず取得させる。

<2・3年次>

- 各コースで上級検定資格（全商2級）を取得させる。

【手立て】

- 資格取得が遅れている生徒には、放課後や長期休業中に補習体制を整え指導を徹底する。

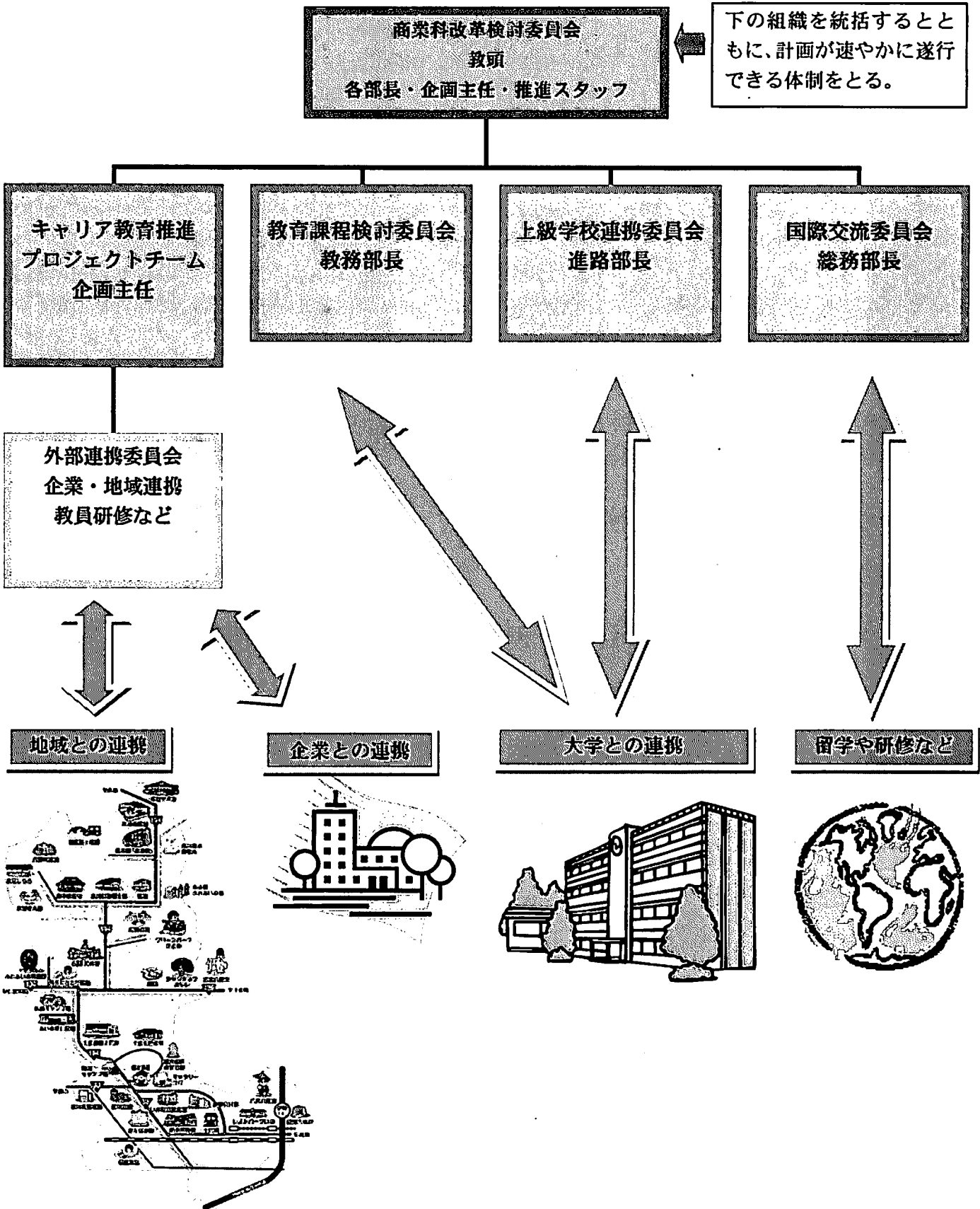
【体制】

- 全商業教員が生徒の資格取得に向けて情報を共有し、同じ指導のできる体制を整える。

目標達成のための組織づくり

外部連携を重視した組織体制

※組織名は仮称



ビジネスコース（会計分野）2年次より

特色

■ 将来、財務・経理部門のスペシャリストである、公認会計士や税理士などを
目指すために、必要な会計に関する専門知識を身に付ける。

□簿記科目群の専門知識をしっかりと学ばせる。

【手立て】

- 「簿記」「原価計算」「会計」「会計実務」の簿記会計分野に関する科目が学習できる教育課程を編成する。
- 実社会で通用する上級検定資格の取得に向け指導する。
- 県内の技術競技会（簿記・商業計算）や全国高等学校簿記コンクール県予選での上位入賞を目指し、積極的に参加させる。

【体制】

- 日本商工会議所主催の簿記検定2級取得を目指すため、放課後に特別講座を設ける。
- 資格取得に向けて、放課後や長期休業中に特別講座を開設するなど、指導体制の充実を図る。
- 各種の商業大会に向けて、部活動指導や特別講座を設け指導体制の充実を図る。

□サービス・接遇などのビジネスマナー教育を徹底するとともに、ロールプレイングを用いた体験学習を実践し、将来、ビジネス社会で役立つ能力を育成する。

【手立て】

- デュアルシステム（長期休業中を利用し、7日以上就業体験）を実施することにより専門的職業に対する理解を深めると共に、ビジネスマナーを習得させる。
- 高い甲子園や伊野商業フェアにおける販売実習の実学教育を行う。

【体制】

- 企業や地域と連携し、さまざまな体験活動を行うための学校と地域や企業との運営組織をつくる。
- 体験学習に向け教員間の共通認識を図り、全教員で企業等の訪問を行い、地域や企業、外部協力者と連携する。
- ビジネス分野で活躍する講師を積極的に活用し、専門力を高めるとともに世界的状況を常に生徒に感じさせる場を設定する。

□高知工科大学（マネジメント学部）と連携することで生徒の学習意欲を高める。

【手立て】

- 大学と連携して、学生の町おこしプロジェクト活動を共に行い、その体験を通して商品開発や物流の仕組みを学ばせることにより、起業家教育に取り組む。
- 高知工科大学と連携して教育課程や教科指導法などについて共同研究を積極的に行う。（単位認定についても視野に入れる）

【体制】

- 大学連携の担当部署を学校組織の中に明確に位置付け、全商業教員がこの連携に関わっていく

ツーリズムコース（観光分野）2年次より

特色

■ 将来、観光立県高知のため、観光関連業界などで活躍するために必要な専門的知識と実践力を身に付ける。

「産業振興計画」の「産業成長戦略」のなかに、ニューツーリズム（グリーンツーリズム・ブルーツーリズムなど）の推進が謳われている。地域独自の魅力を活かした観光産業のメニューづくりの促進、特に観光振興に寄与する人材育成が求められている。

□就業体験や観光ボランティアなどの体験活動をとおり、旅行業、ホテル業、航空関連業、ブライダル業について学ぶ。

【手立て】

- 体験活動を重視した学校設定科目を設ける。（仮称 デュアル）
- デュアルシステム（長期休業中を利用し、7日以上就業体験）を実施することにより専門的職業に対する理解を深めると共に、ホテルや観光関連業界などで基礎的知識を学ばせる。
- 高知城の観光ガイドや、模擬会社 OLI OLI などの体験活動を充実させる。
- 秘書検定や国内旅行業務取扱管理者試験の取得に向けて指導する。

【体制】

- 学校と地域や企業との運営組織を有効に活用し、体験学習に向け教員間の共通認識を図る。
- 体験学習に向け教員間の共通認識を図り、全教員で企業等の訪問を行い、地域や企業、外部協力者と連携する。
- 放課後や長期休業中に特別講座を開設し、より実務的である秘書検定や国内旅行業務取扱管理者試験といった資格取得に繋げる。

□英会話力を充実させる。

【手立て】

- 特色ある教育課程を編成する。
 - ・2年次から「英語実務」をコースでの必修科目とする。
 - ・英会話力を身に付けるため、授業すべてを英語だけで行う必修科目を設ける。
 - ・より英会話力を高めるための選択科目を設定する。（仮称 総合英語、英語表現、時事英語、英語理解など）
- 英検2級の取得を目指し、英検対策補習を実施する。
- 英語による観光実習、交換留学生（派遣・受入）、海外研修、ホームステイ、イングリッシュキャンプ、英語弁論大会などに積極的に参加させる。

【体制】

- ALT・中央の外部講師を活用し専門的な知識や、世界的状況を生徒に感じさせることのできる場を設定する。
- 英語教員の力量を高める研修の場を定期的に設ける。
- 英語教員による、英検対策として放課後や長期休業中に特別講座を開設する。

□さまざまな国や地域の文化や風土を理解するため、観光に関する科目履修や外国との交流活動を行うことで、将来、観光業界などで活躍できる能力を育成する。

【手立て】

- 観光に関する科目や地元高知について学習する学校設定科目を設置する。（仮称 高知イズム、旅行業務、ツアーコンダクトなど）
- 米国のウッドランズハイスクールと姉妹校提携し、交換留学生を通して積極的な交流を行う。

【体制】

- 交換留学生の受入のため、校内に国際交流委員会を設置し、その中に全商業教員を入れる。

ICTコース（情報分野）2年次より

特色

■ 将来、企業でコンピュータを自在に活用できるプロフェッショナルとなるために、データベースソフトやプログラミング言語といった応用情報技術、電子商取引といった情報通信技術を活かした学習も併せて行い、情報分野の専門性を身に付ける。

□情報科目群の専門知識を習得させ、システム開発やデータベースに関する基礎的知識を習得させる。

【手立て】

- ▶ デュアルシステム（長期休業中を利用し、7日以上就業体験）を実施することにより専門的職業に対する理解を深めると共に、システム開発やデータベースに関する基礎的知識を学ばせる。
- ▶ 実社会で通用する、上級検定資格の取得に向け指導する。（経済産業省基本情報、全商情報処理検定1級）

【体制】

- ▶ 体験学習に向け教員間の共通認識を図るための連絡体制を整える。
- ▶ 資格取得に向けては、放課後や長期休業中に特別講座を開設するなど、指導体制の充実を図る。

□エクセル・ワードの上級応用技術を学ばせ、企業で経理や管理のビジネスソフトを取り扱い、情報化を推進できる人材を育成する。

【手立て】

- ▶ 全員にエクセル・ワードの2級を卒業するまでに必ず取得させる。
- ▶ 専門学校の専門性の高い講座を受講させるとともに、専門学校と連携して教育課程や教科指導法などについて共同研究を積極的に行う。（単位認定についても視野に入れる）

【体制】

- ▶ 専門学校連携の担当部署を学校組織の中に明確に位置付け取組む。

□高知工科大学（情報学群）と連携することで生徒の学習意欲を高める。

【手立て】

- ▶ 全員がウェブデザインや電子商取引などを学習し、電子通信ネットワークを活用できる科目を設定する。
- ▶ 高知工科大学と連携して教育課程や教科指導法などについて共同研究を積極的に行う。（単位認定についても視野に入れる）

【体制】

- ▶ 大学連携の担当部署を学校組織の中に明確に位置付け、全商業教員がこの連携に関わっていく。

デザインコース（商業デザイン分野）2年次より

特色

■ 将来、次世代映像クリエイターやデザイン業界で活躍するために、デザイン・映像編集の基礎的な知識・技術を習得させ専門性を身に付ける。

□映像編集に関連する基礎的な知識や技術を身に付け、マルチメディアの高度な編集技術を習得させるとともに、商業デザインに必要な美術・デザインに関する知識の習得とコンピュータグラフィックについても学習させる。

【手立て】

- 高知大学（教育学部）や専門学校（国際デザイン・ビューティカレッジ等）との連携を図り、専門性の高い講師の講座を教育課程に位置付ける。
- デュアルシステム（長期休業中を利用し、7日以上就業体験）を実施することにより専門的職業に対する理解を深めると共に、デザインに関する基礎的な知識を学ばせる。

【体制】

- 大学や専門学校と連携して教育課程や教科指導法など、単位認定についても視野に入れて共同研究を行う。
- 体験学習に向け教員間の共通認識を図り、全教員で企業等の訪問を行い、地域や企業、外部協力者と連携する。
- 専門的分野については中央の著名な外部講師を積極的に活用する。

□外部からの注文・応募作品に取り組みデザイン業界の即戦力となる技術や能力を育成する。

【手立て】

- 担い手育成事業の中の企業の技術指導を通して専門性を高める。
- 県内民間企業と連携し、生徒たちが作成した、CM、プロモーションビデオやリセ企画で作成したデザインなどを公開する場の設定を整える。（卒業制作ビデオを含める）

【体制】

- 県内放送局など関係企業との連携体制を、担い手育成事業を活用してつくる。全商業教員がこの連携体制に関わる。

□今まで取り組んできた「リセ企画」（模擬会社）の経験を活かし、「地域興し」や、「商店街の活性化」に向けて、「ビジネスデザイン」ができる人材を育成する。

【手立て】

- いの町内の風景を写生したカレンダーを発展させ、仁淀川流域の観光・産業紹介を含め、「地域興し」や、「商店街の活性化」に向けて、地域の活性化に貢献できる人材の育成に繋げる。
- 長期休業中などを利用し、地域活性化に貢献できる活動を積極的に展開する。

【体制】

- いの町商工会、仁淀川地域指導員（高知県）と連携を図るために商業科教員全員が関わる。

進路について

コース	目指す進路
ビジネスコース	<input type="checkbox"/> 進学 取得した資格を活かし、特別推薦枠などを活用し、国公立大学や有名私立大学などへの進学を目指す。 高知大学、高知工科大学（マネジメント学部）、立命館などへの進学
	<input type="checkbox"/> 就職 企業の事務処理活動を円滑に行うための会計能力を身に付けさせ、多様な職種への就職を目指す。 卸売業、小売業、金融業・保険業等への就職
ツーリズムコース	<input type="checkbox"/> 進学 商業高校の特別推薦枠を活用し、大学への進学を目指す。 また、英語の科目を数多く選択履修することにより、幅広い大学への進学を目指す。 高知大学（人文学部）、関西外語大学、阪南大学などへの進学
	<input type="checkbox"/> 就職 高知県産業振興計画の柱の一つである「観光業」の後継者として観光立県高知の活性化に貢献できる人材を育成し、観光関連企業等への就職を目指す。 県内外のホテルや旅館業、観光関連業への就職
ICTコース	<input type="checkbox"/> 進学 SE・プログラマー育成を目標とした、情報系大学および短大等への進学を目指す。 また、資格取得を活かした、国公立大学・有名私立大学への特別推薦を受験することで大学への進学を目指す。 高知工科大学（情報学群）、専修大学、東京工芸大学などへの進学
	<input type="checkbox"/> 就職 データベースソフトやプログラミング言語、ビジネスソフトの操作方法や技術を活かしIT関連企業等への就職を目指す。 OA事務作業、情報処理関係企業等への就職
デザインコース	<input type="checkbox"/> 進学 デザイン制作や映像制作をとおり、その個性や才能を開花させることのできる上級学校を目指す。 高知大学、名古屋芸術大学、倉敷芸術科学大学などへの進学
	<input type="checkbox"/> 就職 専門的な知識・技術を活かし、映像製作・デザイン業界・印刷会社への就職を目指す。 ケーブルテレビ、広告関連会社、印刷会社等への就職